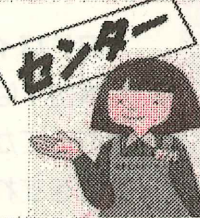


消費生活だより



No604 10月号
2025年10月1日
発行 町田市
消費生活センター
運営協議会広報部
町田市原町田4-9-8
Tel.042-725-8805

夏休み子ども教室開催

町田市消費生活センターでは、今年も夏休みに小学生を対象とした教室を実施しました。
それぞれの教室を紹介します

◆親子で学ぶ金銭教育・父(祖父)と子のクッキング お餅で作るピザ

父と小学生の子ども、7組の参加がありました。決められた金額800円で「お餅ピザづくり」を父子で相談し、材料の買い出しの工夫からお金大切さを学び、ピザを調理する教室です。具材によっては調理が大変なものもありましたが、きちんと完成し、満足顔で頑張っていました。「料理を予算内で収める初めての経験でよかった(父)」「一からやるのが楽しかった(子ども)」などの感想をいただきました。



◆かんたん五平餅を作って

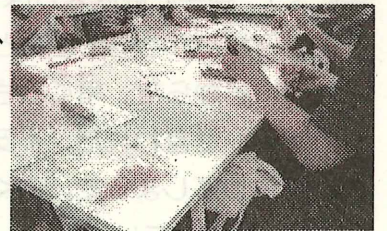
食品ロスと大切にすることを考えよう！

小学3年生から6年生まで20名の参加でした。米作りを中心とした農業と水の話に始まり、食品ロス、賞味期限や防災備蓄についても学びました。町田市提供の防災備蓄品のアルファ化米を小分けしてポリ袋に入れ、お湯を加えて揉み揉み。アイスの木製スプーンにしっかりとつけて素焼きし、アレルギー対応醬油を塗りあぶって出来上がり！「五平餅って楽しくて美味しいね」が全員の感想でした。SDGsクイズにも取り組みました。



◆東京の木でマイ・箸づくり

7組15名のご家族が参加して「マイ・箸づくり」を行いました。講師の説明の後、東京のひのき(間伐)をカッターで自分の好みの箸先になるまで削ります。初めてカッターを使った子も次第に慣れてきて、怪我もなく楽しそうに削っていました。次に、二種類の紙やすりで表面がつるつるになるまで磨きます。皆、手が痛くなるまで磨いていました。一人一膳の箸を作った子も、家族で協力して一膳の箸を作った子も、いずれも出来上がりに満足して笑顔でした。



◆経済ゲーム・レストランオーナーになってみよう 食材を仕入れ料理を完成させお金を得るすごろくゲームを行いました。

食材は天候や国内外のいろいろな状況に影響を受け、価格が変動する様子がゲームの中に散りばめられています。変動する価格を考えながらレシピを仕上げていく達成感がありました。クイズの答えを皆が見学のお父さんに聞きに行く微笑ましい光景もありました。「すごろくをしながらお金に関することがいっぱい勉強できたし、おもしろかった」「利益やカードで値段が上下するゲームはおもしろくて楽しかった」との感想をいただきました。



(文責 広報部)

相談室



「お宅の屋根、
壊れていますよ!!」

それって、本当ですか？

家の屋根の状態を見たことはありますか。屋根が傷んでいるかどうかを自分で確認することは難しく、屋根の状態を常に把握しておくことは困難です。それにつけ込んで訪問してきた事業者から工事の契約を勧められたとの相談が、後を絶ちません。

《事例1》

「近くのマンションで工事をしている。工事に薬剤を使っているが大丈夫か」と聞かれたので「大丈夫だ」と答えた。すると「工事現場からお宅を見たら、屋根のトタンが一部壊れていた」と言われた。

「そんなことはない」と答えたら、次に上司と一緒に来て、勝手に庭に入りはしごをかけて写真を撮り、見せられた。「うちの屋根と色が違う」と言ったが「汚れているからだ。早く直さないと屋根が壊れて雨漏りする」と言われた。不安になり、50万円の工事を契約してしまった。よく考えたらおかしいと思うので、解約したい。

(80代)

《事例2》

突然来訪した事業者から「近所で屋根の工事をしていたら、お宅の屋根の釘が出ているのが見えた。無償で修理しますよ」と言われたのでしてもらった。事業者は「貫板が腐っていたから釘が打てなかった。3～4年は大丈夫だと思うが、今直せば50万円で済むところが3～4年後は300万～400万円かかる」と言った。私が「セカンドオピニオンをもらっても良いですか」と言うと帰って行ったが、不審だ。

(60代)

《アドバイス》

事例1は、訪問販売であり、契約して契約書を受け取ってから3日目でした。クーリング・オフの手続きをすれば良いことを説明し、事業者に通知するようにと話しました。

事例2は、同様の相談が多いことを話して今後也十分注意をするようにと伝えました。

突然やってきた事業者から言われても、安易に屋根の点検をさせないようにしましょう。点検箇所をわざと壊して撮影して勧誘するなど悪質なケースも見られます。屋根工事を勧められてもすぐには契約をせず、自身で見つけた信頼のできる事業者などから相見積もりをとるなどして十分検討をするようにしましょう。何か不安を感じた時は消費生活センターに相談してください。

配線器具 その使い方、間違っていないか？
正しく使って安全に

- 配線器具には使用可能な消費電力（定格消費電力）が定められており、それを超えて使用すると火災につながる恐れがあります。表示されている定格消費電力を超えないように注意しましょう。
 - 炊飯器など消費電力の大きな電気製品の中には、延長コードなどの使用を禁止している製品もあります。接続する電気製品の取扱説明書を必ず確認しましょう。
 - 電源コードをねじ曲げる、踏みつけるなど、外部から大きな力が加わる使い方をすると、電源コードが損傷して異常発熱や発火の原因になります。
 - 電源プラグを長期間差し込んだままにすると、コンセントとの隙間にほこりや水分が付着して発火する恐れがあります。定期的に掃除しましょう。
 - 延長コードやテーブルタップなどの配線器具には寿命があります。異臭や変色がないか定期的に確認し、古くなったら交換をするようにしましょう。
- (国民生活センター 見守り新鮮情報 第517号)

《消費生活センター 今後のイベント予定》

「身体への影響は？PFASを学ぶ」10/6（月）午前10時～正午 町田市民フォーラム4階 第2学習室

「インターネット通販でだまされないために～その広告大丈夫？広告と賢くつきあおう！ネット広告を中心に～」
10/9（木）午前10時～正午 町田市民フォーラム3階 視聴覚室

「国産大豆で豆腐を作ろう！～おからも食べよう～」

10/16（木）午前10時～正午 町田市民フォーラム3階 調理室

【お申込み先】町田市イベントダイヤル 042-724-5656

【お問合せ先】町田市消費生活センター 042-725-8805